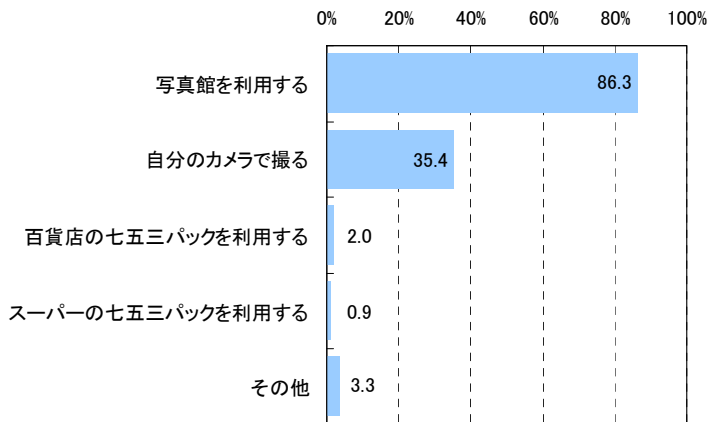




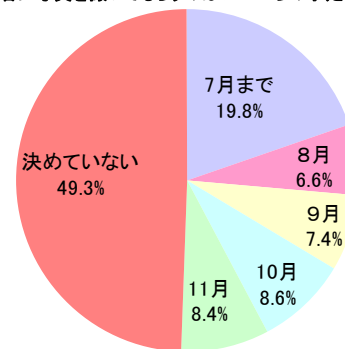
写真館の早割利用で、早期に安く撮影するのがスタンダードに

七五三の撮影を写真館で行う家庭は多く、今回の調査でも86.3%と依然高い割合に。「早割を利用したほうが安くてお得」という心理から、各写真館の早期戦略によって撮影時期も年々早くなり、約5人に1人が7月末までに撮影すると回答。一方、自分のカメラで撮る家庭も35.4%にのぼった(グラフ①・②)。子どもの晴れ舞台とあって多少の出費はやむなしとしながらも、予算はほぼ横ばいで平均約3万4000円と低いのは、各社競って打ち出した早割戦略も背景の一つといえよう(グラフ③)。

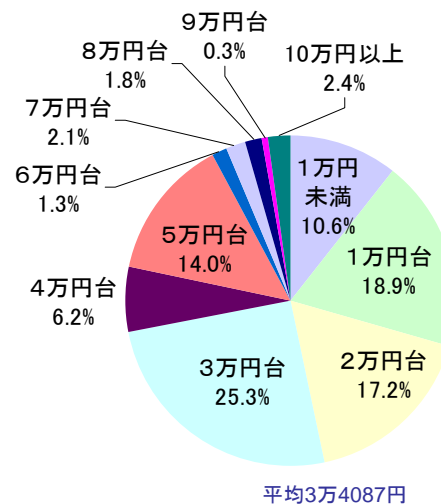
グラフ①七五三の写真はどのように撮りますか？(複数回答) (n=659)



グラフ②今年度七五三のお祝いをした人、またはこれからする予定の人へ。業者に写真を撮ってもらうのはいつごろの予定？ (n=653)



グラフ③七五三の費用はいくらでしたか？(またはいくらのご予定？) (n=679)



園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。  
(あんふぁんサイト <http://www.enfantliving.jp>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

<調査概要>

●2013年7月5日~31日実施のwebアンケートの回答から、810件を集計

<調査実施>あんふぁん